

1 日時

平成30年6月26日（火）9：30～16：00

2 場所

南区役所2階A会議室

3 出席委員 4名

4 次第

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 審査委員長、審査副委員長の選任
- (4) 審査方法等の説明
- (5) 企画プレゼンテーション（町内自治会、校区自治協議会、校区自治協議会の構成団体）
- (6) 閉会

5 議事の概要

(1) 開会

(事務局)

只今から「熊本市南区地域コミュニティづくり支援補助金審査会」を開催する。

(2) 委員紹介

(事務局)

それでは、審査委員の皆様を紹介する。〔審査委員の紹介〕

(3) 審査委員長、審査副委員長の選任

それでは、これからの議事に入るが、区民部長を委員長として進めさせていただくがよろしいか。

(4) 審査方法等の説明

(委員長)

それでは、事務局より審査方法の説明をお願いします。

(事務局)

補助制度の内容について説明する。

この地域コミュニティづくり支援事業は、自治会等及び自治協並びに構成団体が主体的に地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に取り組み、引き続き活動の継続が見込まれる事業に対して、事業費の2分の1以内を補助することで、安全で安心して暮らすことのできる自主自立のまちづくりを推進するというものである。

補助金の限度額は、1件あたり下限を2万5千円、上限を30万円とする。  
当補助金の予算額は、本年度は400万円から300万円へ減額されている。  
次に、本日の手順等について説明する。

手元の企画提案書一覧表のとおり、本日は、30団体、5,262千円の補助金要求となっている。

まず、この後、提案団体ごとにプレゼンテーションをしていただく。

1団体、説明5分、質疑3分の計8分とする。

プレゼンテーションを聞いていただき、都度、手元の鉛筆で仮の得点を付けていっていただく。

提案団体は町内自治会20団体、校区自治協議会5団体、関係団体5団体の30団体で、提案書受付順に進めていく。詳細については、手元の「プレゼンテーション時間割」を確認いただきたい。

30団体すべてのプレゼンテーション終了後、委員の皆様にご採点いただき各団体の得点を事務局で集計し、合計得点の高い順から序列を付ける。

予算の範囲内ではあるが、基本的には、上位の団体から順に予算額の300万円に達するまで事業及び金額を採択していくことになる。

また、採択に際し、評価基準に基づき採択を行った場合、審査員一人が25点満点となり、審査員が4名であるため、1団体につき最高100点となる。

1項目につき3点を標準点数とした場合、審査項目は5つあるので、1人15点となり、4人の審査員の点数を合計した60点を最低採択ラインとさせていただきたいと考えているので、審査方法の前提として了解いただければと思う。

自治会等、自治協、構成団体ともに採択数の制限はない。

審査にあたっては、配布した「審査基準」をもとに実現可能性、有効性等を5段階で評価していただく。

最後になるが、プレゼンテーションの時間については、提案団体が多数であること、本日の審査会の終了時間に制限があることから、庶務のほうで時間をはかり、各団体の持ち時間どおりで打ち切らせていただくことを申し添える。

以上で説明を終わるが、何か質問等はないか。

(委員長)

最低採択の得点ラインの説明があったが、昨年と同様に総合得点の60点を最低採択ラインとし必要に応じて採択の際に条件を付すことができるものとしてよろしいか。

～委員了承～

(委員長)

今回は、申請件数と申請額が多く、予算をかなり上回っており、得点順に序列がついたものを高い得点の団体から予算額300万円に達するまでを順に採択することを案として進めていく。ただし、決定は審査会に委ねられている。

(5) 企画プレゼンテーション

(委員長)

それでは、団体のプレゼンテーションに移る。

～提案のあった30団体からのプレゼンテーション及び質疑～

(委員長)

すべての企画提案が終わった。審査表を回収し、集計が終わり次第審査に入りたいと思う。集計は事務局にお願いする。

～審査表の回収・集計～

～審査結果を読みあげる～

(委員長)

審査の結果、企画提案のあった30団体中、17団体が採択、13団体が不採択であったが、委員の皆様よろしいか。

(委員)

～了承～

(委員長)

審査結果の各種団体へ通知等は事務局から通知するようお願いする。以上で、南区地域コミュニティづくり支援補助金審査会を閉会する。

(6) 閉会

～終了～